

R 6 年度多文化共生の担い手連携促進事業 活用事例（４）

申請団体名（共催団体名）	
（公財）和歌山県国際交流協会（近畿地域国際化協会連絡協議会）	
事業名	
令和６年度和歌山県災害時避難所巡回訓練・多言語支援センター設置運営訓練	
申請区分(実施要綱第５条)	
その他、広域的な担い手の連携または災害時の外国人支援体制強化に資すると認められる取組	
助成内容	
☒ 地域国際化推進アドバイザー等の派遣 ☒ 助成金の申請	
活用のポイント	
和歌山県が想定する災害時対応に沿った連携訓練を実施し、外国人被災者対応の心得、やさしい日本語での対応、翻訳アプリの活用、多言語リソースを用いた支援方法を学んだ。多言語支援センター設置運営訓練では、マニュアルに沿った作業を実施し、遠隔連携による多言語情報の発信までを行った。 避難所と多言語支援センターの連携訓練の企画に際し、アドバイザー並びに有識者の助言が有益であり、危機管理局との連携強化や今後の改善点が明確となった。アンケートでは、外国人被災者役の存在や個々の活動スキル向上について評価する声が寄せられた。	
事業の様子	
	
避難所巡回訓練の様子	多言語支援センター、避難所巡回についての講義の様子